

60067

教科書文庫

6
420
34-1950
01304 49944

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1



服部 静夫 編

文部省検定済教科書

教科書文庫
6
420
34-1950
0130449944

あたらしいりか

3ねん

2	
東書	小理 305

(2)

広島大学図書

0130449944

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

中央図書館

教科書文庫

6

420

34-1950

0130449944

昭和25年8月12日 文部省検定済 小学校理科用

3ねんよう
あたらしい りか
2

- II てんきしらべ
- III おもしろい あそび
- IV じょうぶな からだ



広島大学図書

0130449944



広島大学図書

0130449944



東京書籍株式会社

もくじ

II てんきしらべ 3

1 春の てんき 3

2 夏の てんき 6

3 秋の てんき 9

4 冬の てんき 14

III おもしろい あそび 19

1 ほかけぶね 20

2 水あそび 24

3 じしゃく作り 27

4 ぼうえんきよう 30

5 だるまおとし 33

6 うごく おもちゃ 35

7 でんちあそび 39

8 いとでんわ 42

IV じょうぶな からだ 45

1 春の しんたいけんさ 46

2 朝から 夜まで 52

3 夏の えいせい 58

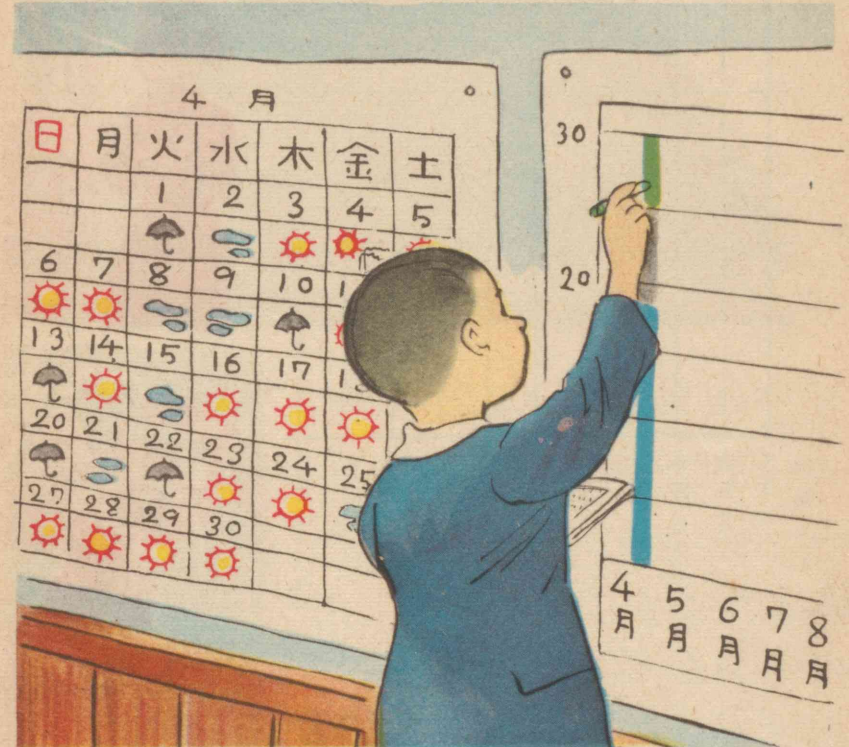
4 うんどうの あと 66

5 冬の えいせい 68

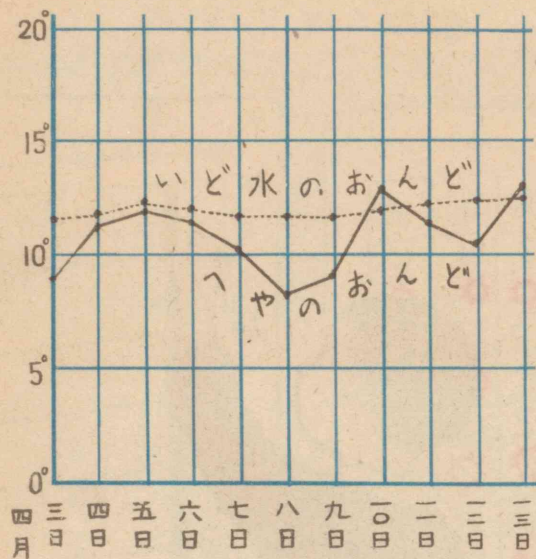


II てんきしらべ

1 春の てんき



けんいちくんたちは くみ を 作って、
 てんきしらべを しました。けんいちく
 んの くみは、4月ぶんの てんきしら
 べが できたので、グラフを 作って
 います。これから 1年じゅうの てん
 きを しらべて、グラフを 作る こと
 に しました。



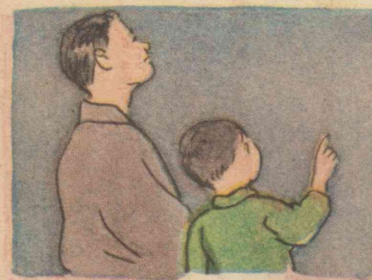
みよ子さんの くみは へやのおんどと いど水のおんどをはかりました。まいにち 12時に はかることに きめました。いど水のおんどをはかる とき、はじめ ポンプから 出てくる 水は すてました。

4月ぶんが できたので、グラフを 作りました。



けんいちくんの くみでは ほしをしらべました。けんいちくんは おとうさんから ほしの ことを おしえて いただきました。

「あれが ひしゃくぼしです。いちばんはしの ふたつの ほしを むすんで、ひしゃくの むいて いる ほうへの



ばすと、ほっきょくせいが 見つかります。ほっきょくせい は ほうがくをしる とき、やくに たちます。」

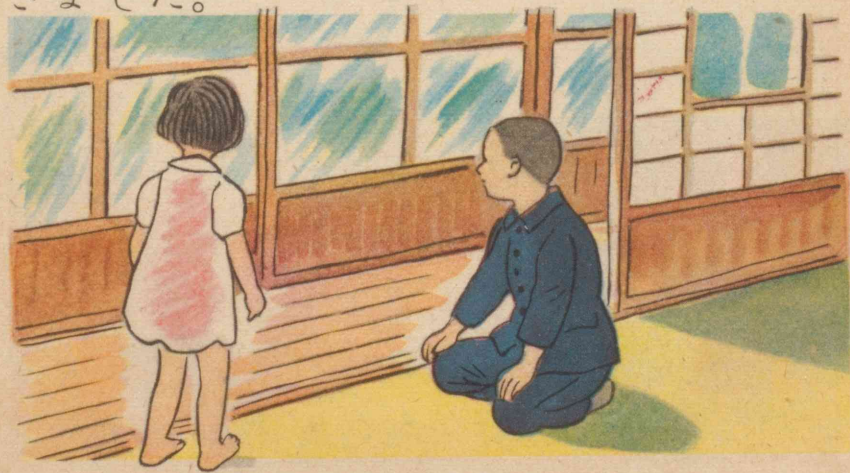
2 夏の てんき



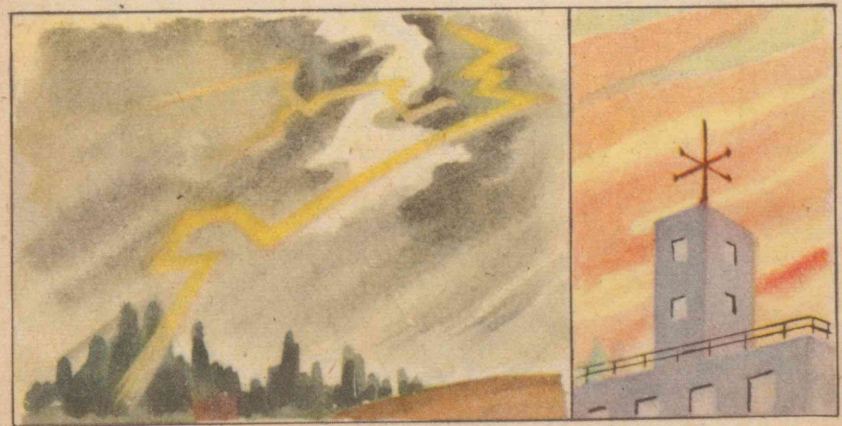
みよ子さんが にわで あそんで いると、ゴロゴロと かみなりが なりだしました。

見ると 黒い くもが ひろがって きました。

その うちに ゆうだちが ふって きました。



にいさんが
「くもと くもの あいだや、くもと
じめんの あいだに でんきが とおっ
て、火ばなが とぶ ことが あります。
それが いなびかりです。その とき
出る 音が かみなりの 音です。」
と おしえて くれました。





ゆうだちが やみました。
けんいちくんは おとうさ
んから 十じぼしを おし
えて いただきました。

「あっ、ながれぼしだ。い
まに ほしが なくならな
いかしら。」

と、けんいちくんが いうと、おとうさ
んが

「ひかって いる ほしが ながれるの
では ないのです。ながれぼしは ほし
の かけらが ちきゅうに おちて く
るときに ひかるのです。」

と おっしゃいました。

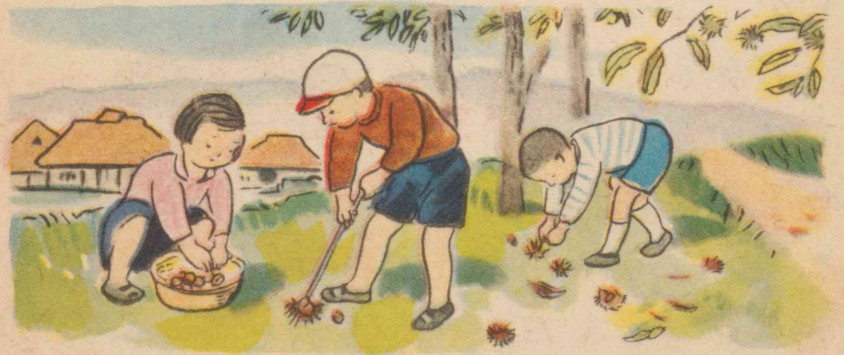
3 秋の てんき

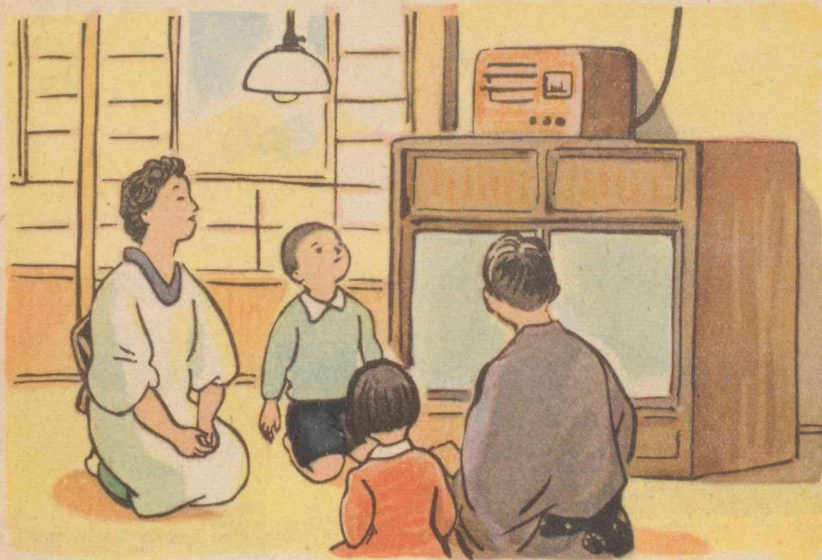


「この あらしは
よなかには やん
で、あしたは よ
い てんきに な
るでしょう。」
と、ラジオから

てんきよほうが きこえました。朝に
なると、かぜが すこし のこって い
るが、よい てんきに なりました。

けんいちくんと みよ子さんは、とも
だちと いっしょに くりひろいに 出
かけました。

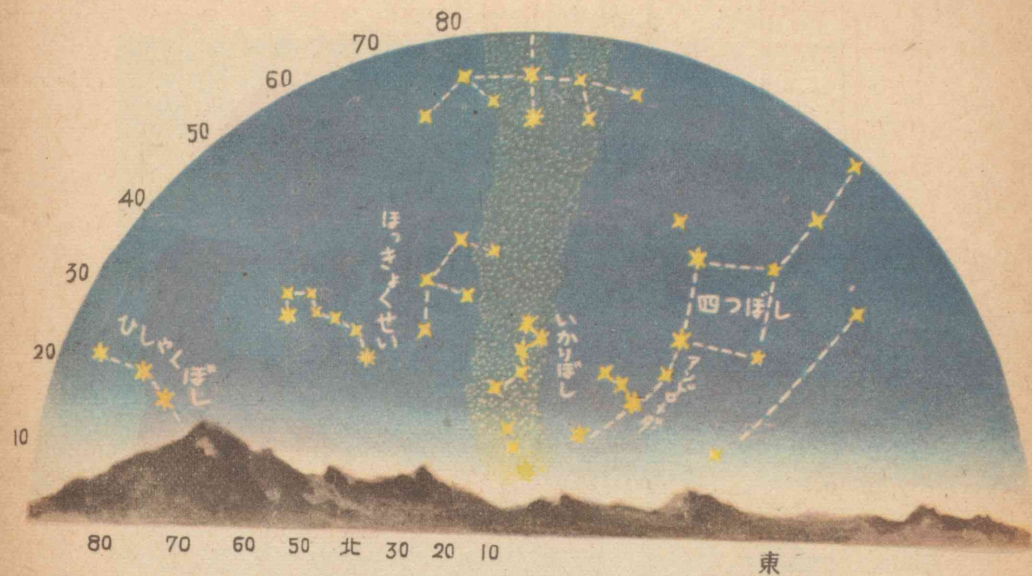




ゆうはんのあとで みんなで くり
を たべました。ラジオが 大水の 出
た ことをつたえて います。

「でも、このへんは たいした こと
が なくて よかった。いまごろ あら
しが くと、いねが
たおれるので、お米の
とれかたが ずっと
へるのです。」

と、おとうさんが お
っしゃいました。



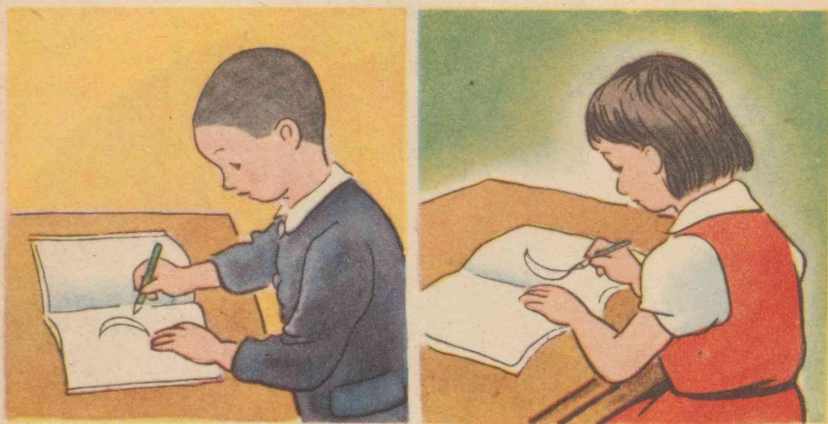
けんいちくんは おとうさんと いっ
しょに、ほっきょくせいや ひしゃくぼ
しが どう なったかを見ました。

「ひしゃくぼしが 山に かくれて 見
えないので、ほっきょくせいが 見つかり
ません。」

と、けんいちくんが いうと、おとうさ
んが

「その ときは いかりぼしで 見つけ
るのです。」

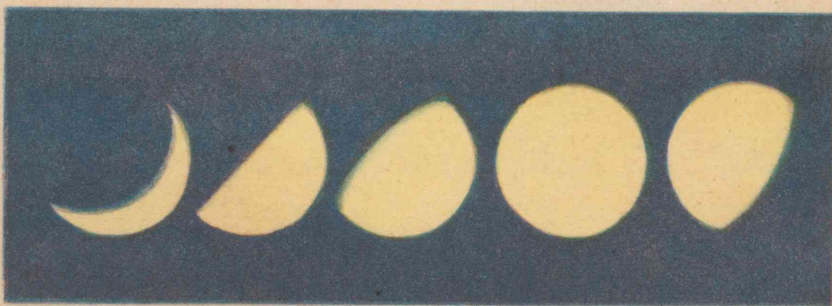
と おっしゃいました。



けんいちくんが みかづきの えをかきました。みよ子さんも かきました。どちらが よいでしょうか。

おとうさんに 月の 話を して いただきました。

「月は だんだん ふくらんで まんまるに なります。それから だんだん かけて いくのです。」



おとうさんが ひると 夜の できる わけを 話して くださいました。

「ゴムまりを かいちゅうでんとうで てらします。ゴムまりが ちきゅうで、かいちゅうでんとうが たいようです。

あかるい ほうが ひるで、くらい ほうが 夜です。」



4 冬の てんき



朝 おきたら、ゆきが つもって いました。けんいちくんや みよ子さんは おおよろこびです。

「ゆきだるまを 作って あそぼうね。」と、けんいちくんが いいました。

「ゆきうさぎも 作りましょう。」と、みよ子さんが いいました。



けんいちくんは みんなと いっしょに ゆきだるまを 作りました。ゆり子さんは ゆきの ふかさを はかりました。みよ子さんは ゆきうさぎを 作りました。ゆうがたに なったら、ゆきうさぎは とけて 水に なりました。ゆきが ぐっと おされて かたくなると、こおりのようになります。





夜、おとうさんから ゆきぐにの話をききました。

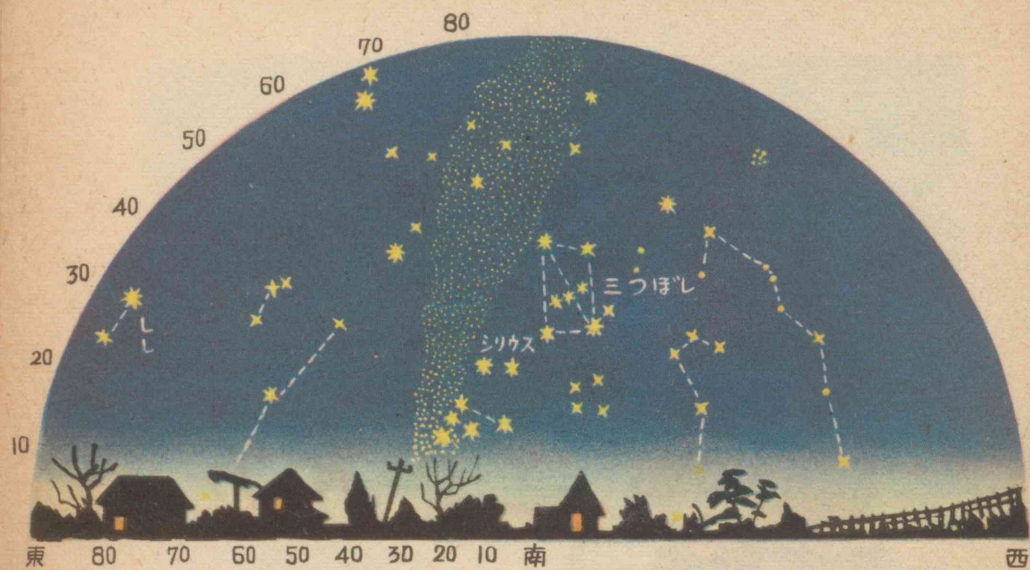
「このへんはゆきがすくないが、ゆきぐににいくと、ゆきがやねにとどくほどつもるところもあります。きしゃが走れないので、ロータリーしゃでゆきかきをします。」



「ゆきが山の上からおちてきて、家がつぶれることもあります。」

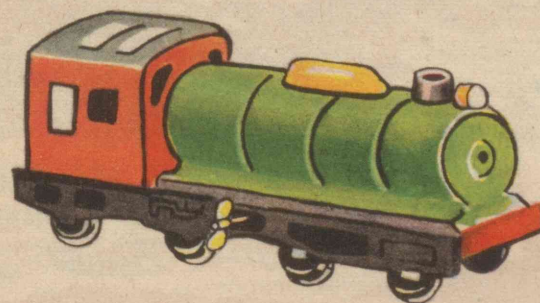
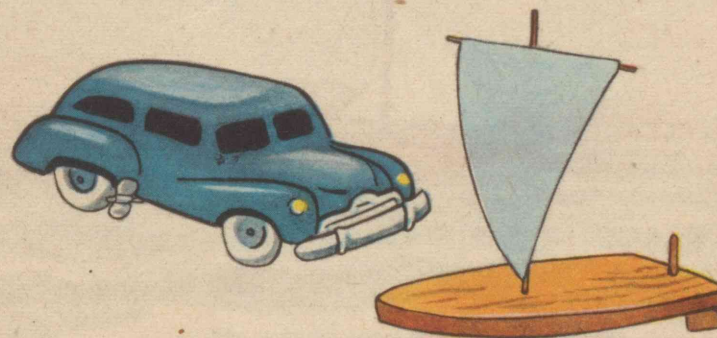
ゆきぐにではそりでもつをはこんだり、スキーにのってあそんだり、おつかいにいったりします。」

けんいちくんはゆきぐににいったみたいと思いました。

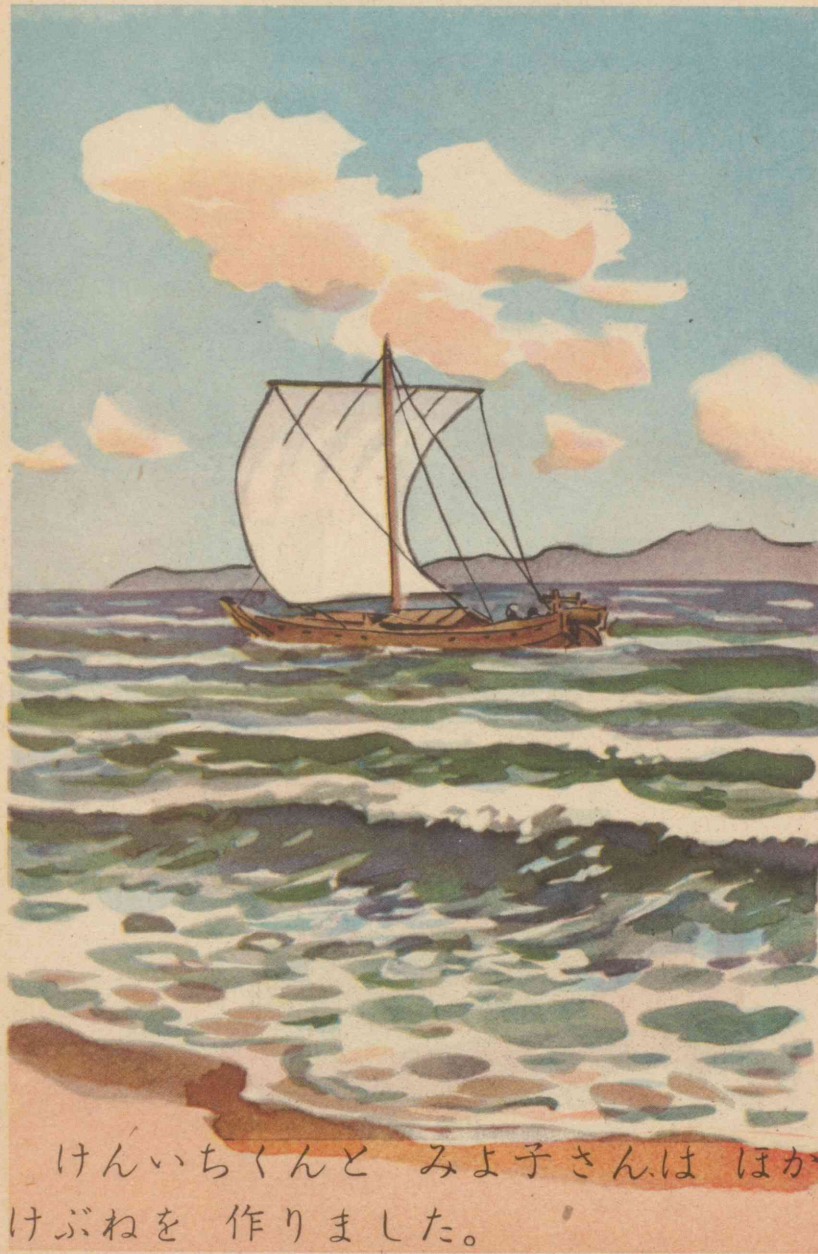


外には ほしが かがやいて います。
 けんいちくんは おとうさんと いっし
 ょに ほしを 見つけました。
 「あれが 三つぼしでしょう。」
 と、けんいちくんが いうと、おとうさ
 さんが
 「そうです。三つぼしを はさんで あ
 おじろい ほしと 赤い ほしが 見え
 ます。三つぼしの ひがしの ほうに
 見える、きれいな ほしが シリウスで
 す。」
 と、話して くださいました。

III おもしろい あそび



1 ほかけぶね



けんいちくんと みよ子さんは ほかけぶねを 作りました。



たらいの 水に うかべて あそんで
いると、あきらくんが きました。

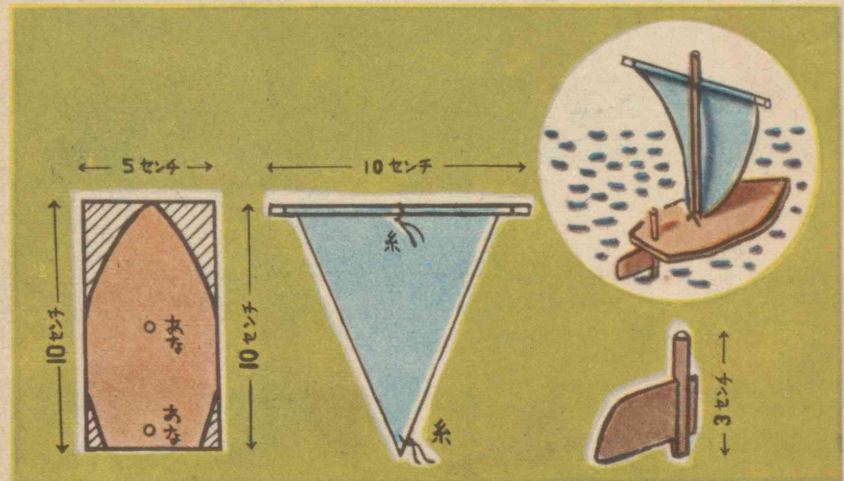
あきらくんは
「かじを つけて いけで あそぼうよ。」
と 言って、マッチばこを こわして
かじを 作りました。

かじが できたので、いけに 行って
ふねを うかべました。
ほに かぜが あたると、
ふねは よく すすみます。
かじが あると、ふねの
すすむ むきを 右にも
左にも かえる ことが
できます。

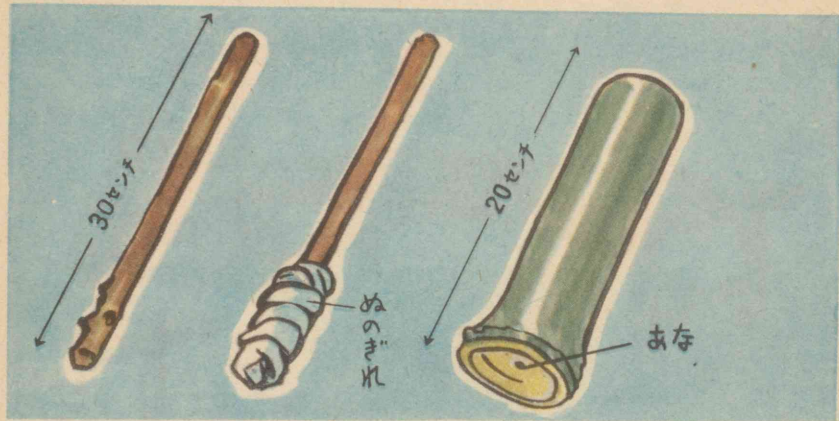


みんなは けんいちくんに ほかけぶ
ねの 作りかたを ききました。

あきらくんは かじの 作りかたを
話しました。



2 水あそび



きょうは みんなで 水あそびを しました。

けんいちくんは 竹で 水でっぽうを 作りました。

水が よく とびます。



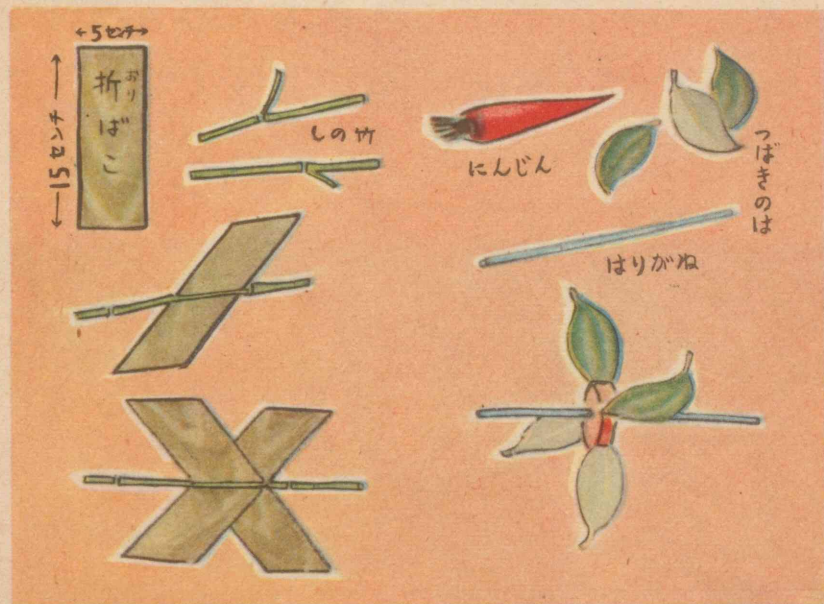
みよ子さんは かぼちゃの はの く きをつないで ふん水を 作りました。

バケツの 水を 高く すると、いき おいよく 水が 出ますが、ひくく すると 出なくなります。



あきらくんは にん
じんと つばきの は
で 水ぐるまを 作り
ました。

みよ子さんの ふん
水に あてると、水ぐ
るまは たいへん よ
く まわります。



◇ 水ぐるまを はんたいの むきに
まわすことが できますか。

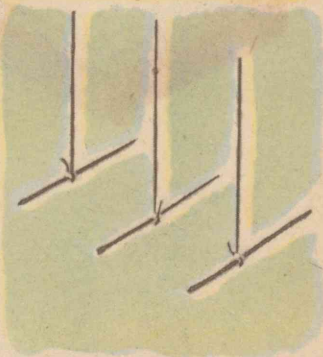
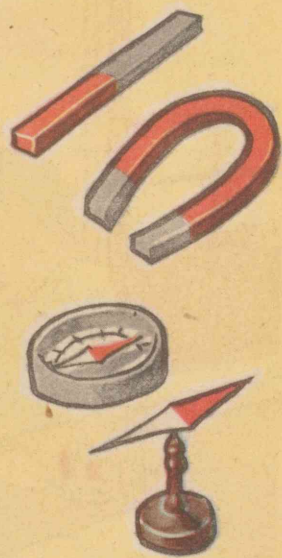
3 じしゃく作り



けんいちくんと
みよ子さんは じし
ゃくを 作りました。

「あきらさん、もう この はりは み
んな じしゃくに なったのよ。ほら、
この とおり つくわよ。」

みよ子さんは はりに べつの はり
を つりさげて みせました。



あきらくんは けんいちくんと みよ子さんから じしゃくの 作りかたを ききました。

みんなで じしゃくを作っ ていると、けんいちくんの

にいさんが きて

「じしゃくを、いとで つりさげると、

みんな 北を むくよ。」

と いいました。



にいさんが つりさげた はりじしゃくに じしゃくを ちかづけると、はりじしゃくの 北と じしゃくの 北、または みなみと みなみの ときは にげ、北と みなみの ときには すいつきました。

つぎに にいさんは じしゃくの はりを 小さい かみに さして、水に うかべて みせました。けんいちくんが 「あっ、これで ほうがくが わかるね。」と いいました。

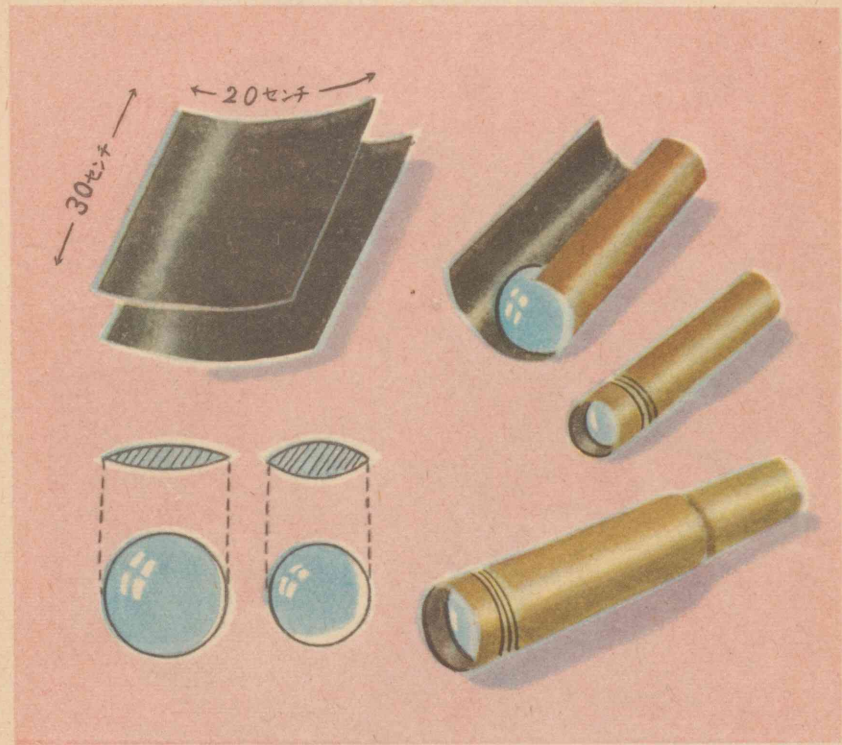
◇ 学校から 見える たてものや 山の ほうがくを しらべましょう。

4 ぼうえんきょう



みよ子さんが おじいさんの めがね
の たまに、むしめがねを かさねて
外の けしきを見ると、ずっと 近く
見えました。

けんいちくんが
「みよ子さん、それで ぼうえんきょう
を作ろうよ。」
と いいました。



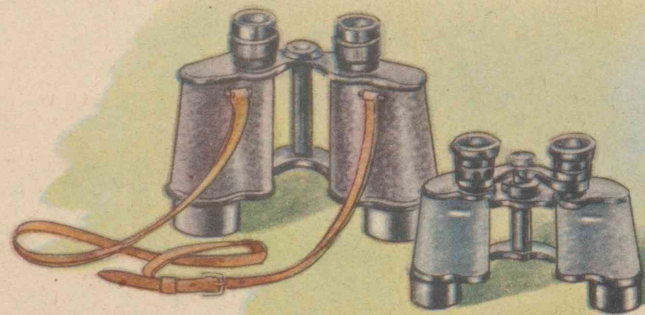
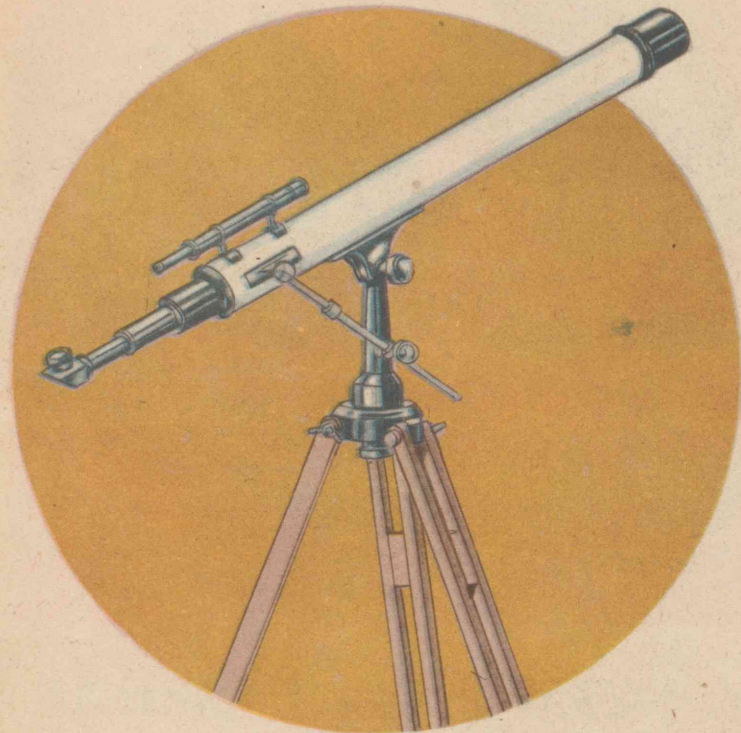
けんいちくんと みよ子さんは ぼう
えんきょうを 作りました。

よういした もの

◎すみで 黒く ぬった つつを 作
るための あつがみ 2まい。

◎むしめがね、または ちがった レ
ンズ 2まい。

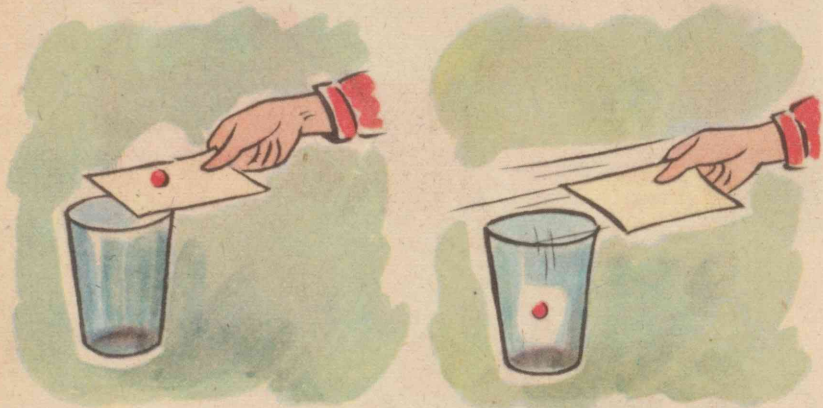
◎いと、のり、はさみ、はんし。



5 だるまおとし

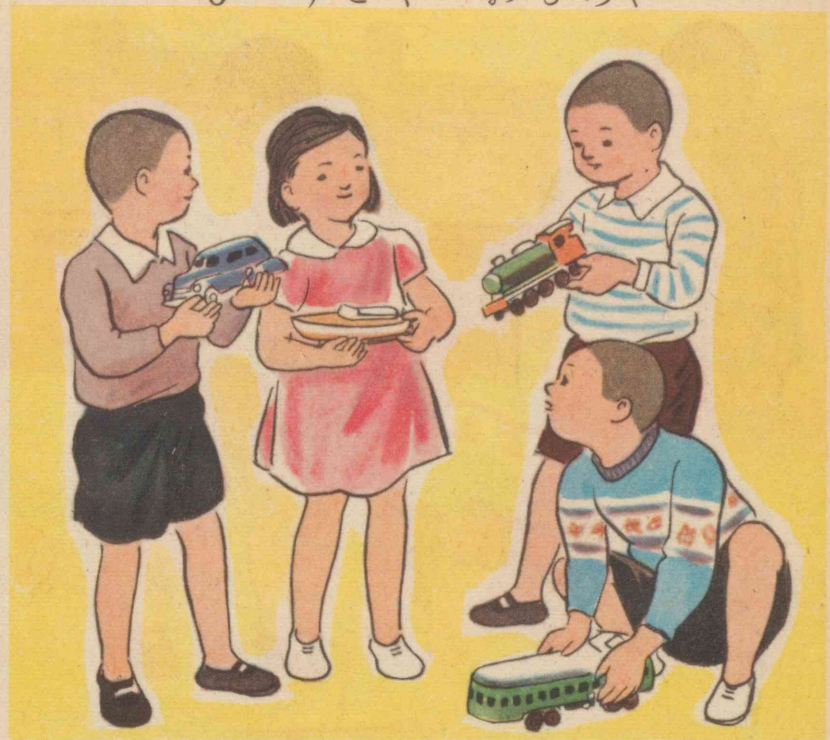


けんいちくんと みよ子さんは とも
だちと だるまおとしを して あそび
ました。



はがきの 上に ちゃわんを のせて、
はがきを ゆっくり ひくと、ちゃわん
も いっしょに ひかれて きます。

コップの 上の はがきに おはじき
を のせて、はがきを きゆうに ひっ
ぱると、おはじきは コップの なかに
おちました。



みんなは うごく おもちゃで あそ
ぶ ことに しました。

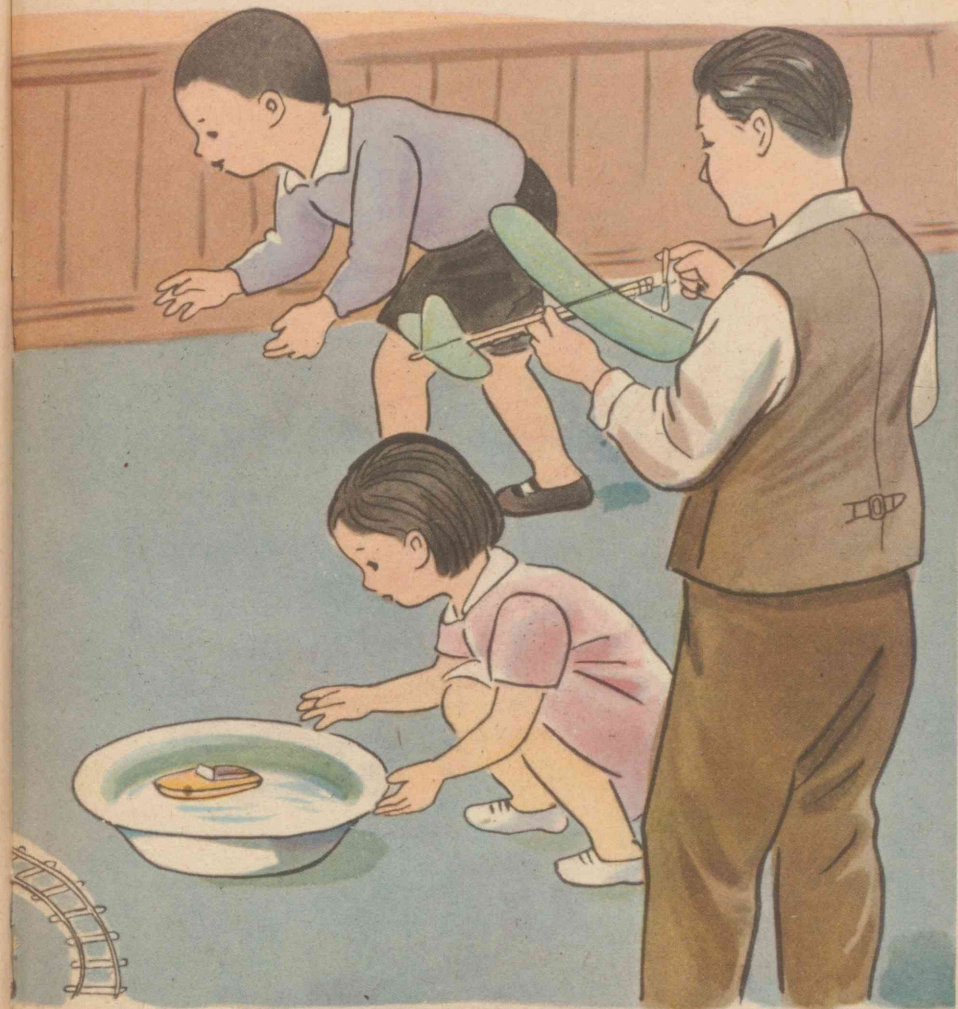
けんいちくんは じどうしゃを、あき
らくんたちは でんしゃと きしゃを
もって きました。どれも ぜんまいで
うごきます。みよ子さんは ふねを も
って きました。先生が ひこうきを
もって こられました。ふねも ひこう
きも ゴムで うごかします。



「ほんとうの じどうしゃは ガソリン
で 走るんだよ。」

「ひこりきも ガソリンだわね。」

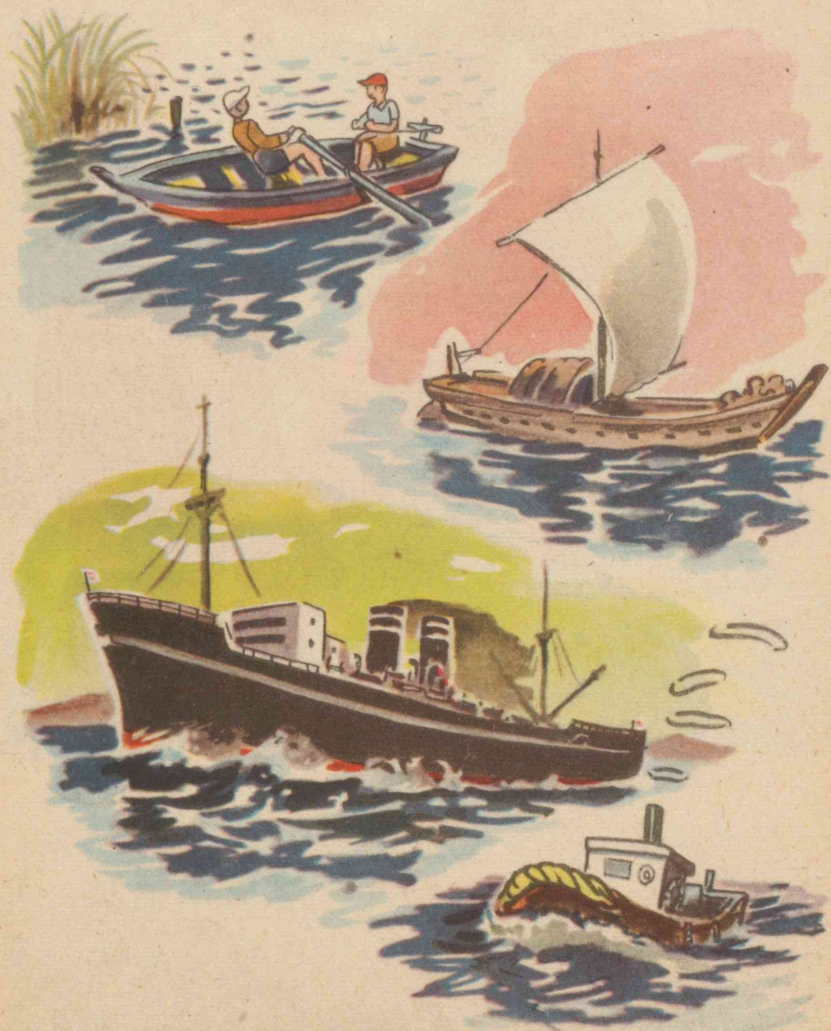
「きしゃは せきたんを たいて 走る



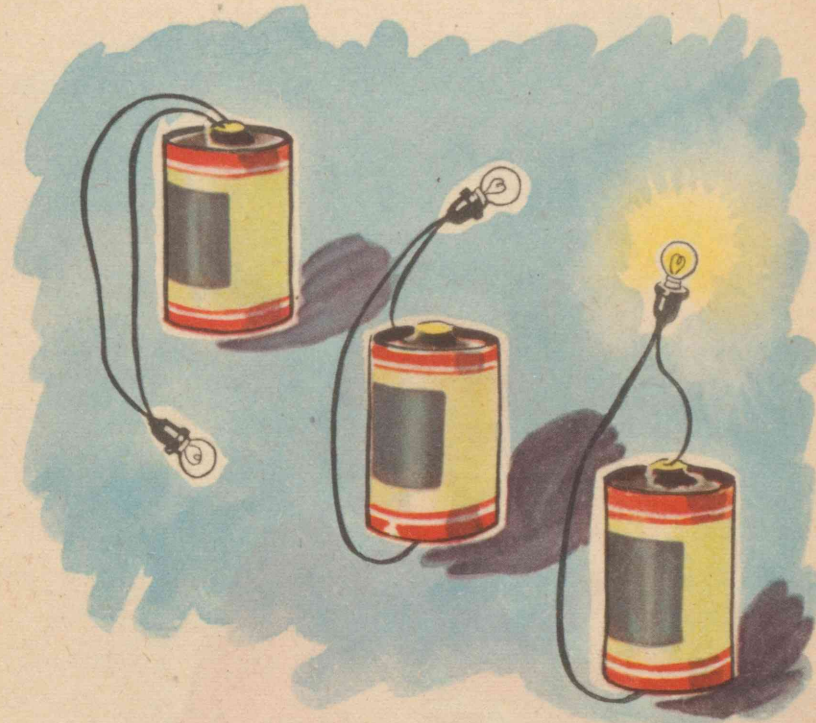
んだよ。」

「ぼくの でんしゃは ぜんまいで 走
るけれど、ほんとうの でんしゃは で
んきで 走るんだよ。」

◇ ふねは なんの カで うごくので
しょうか。



7 でんちあそび



けんいちくんと みよ子さんは でんち
で まめでんきゅうを つけて みました。
1 上の かなものに りょうほうの せ
んを つないだら つきませんでした。
2 上の 黒い ところと、そのの かな
ものにつないでも つきません。
3 上の かなものと そのの かなもの
につないだら、あかるく つきました。

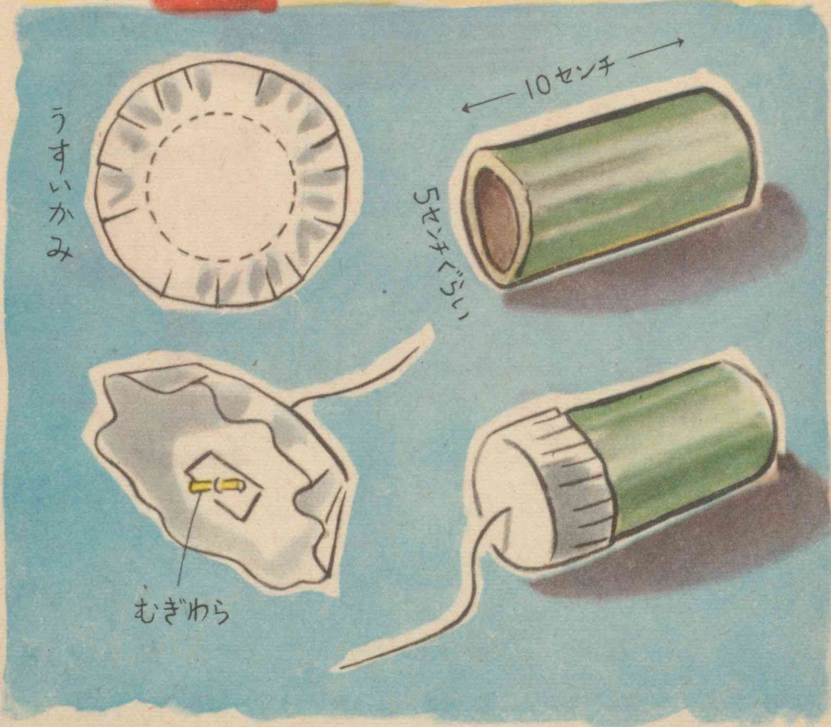
みよ子さんは かいちゆうでんとうの
なかを あけて みました。

けんいちくんは おもちゃの モータ
ーを まわして みました。

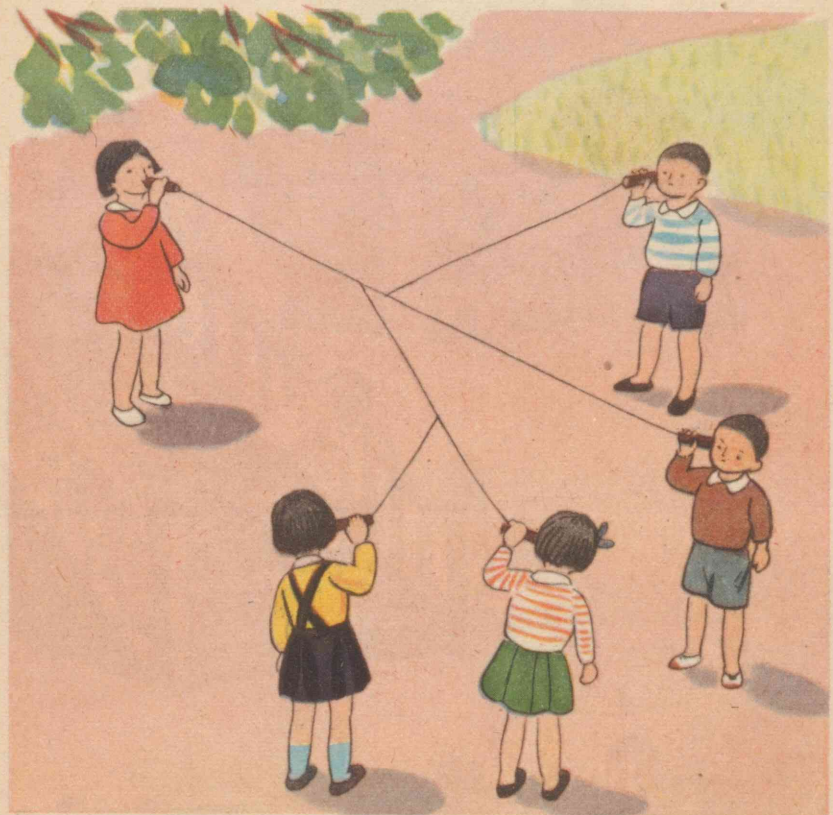


◇ 電きの きかいは どんな も
のが ありますか。

◇ 電きの きかいを つかう とき
には、あぶない ことが あるから
気をつけましょう。



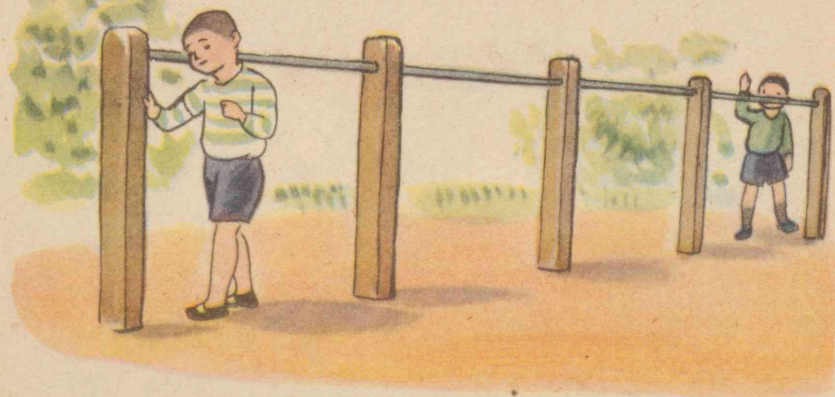
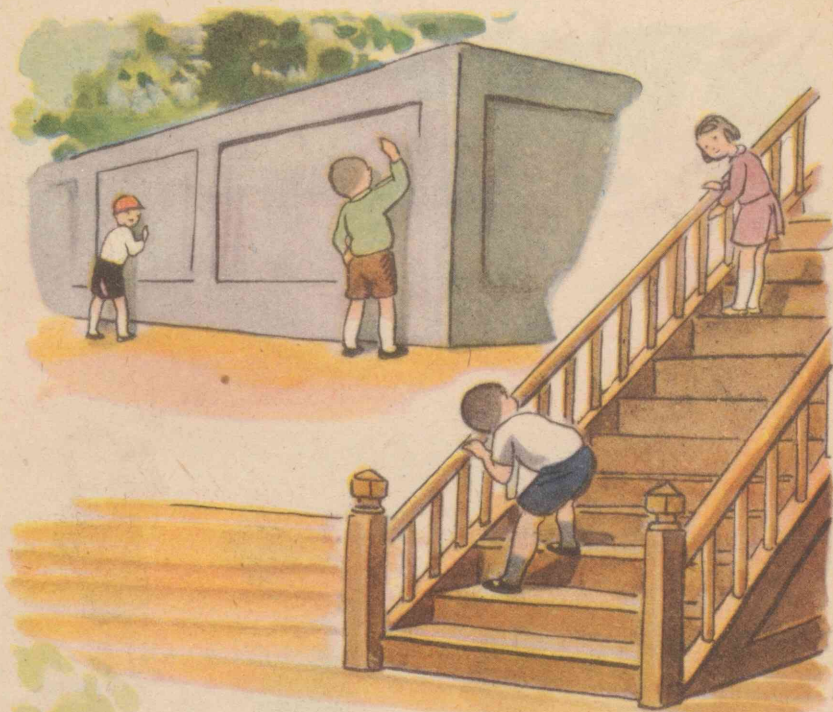
けんいちくんと みよ子さんは いとでんわを 作りました。



みよ子さんが うたうのを みんなで ききました。

◇ いとを はったり, たるませたり して, 話を して みましょう。

◇ つつに 口を つけたり はなしたり して, 話を して みましょう。



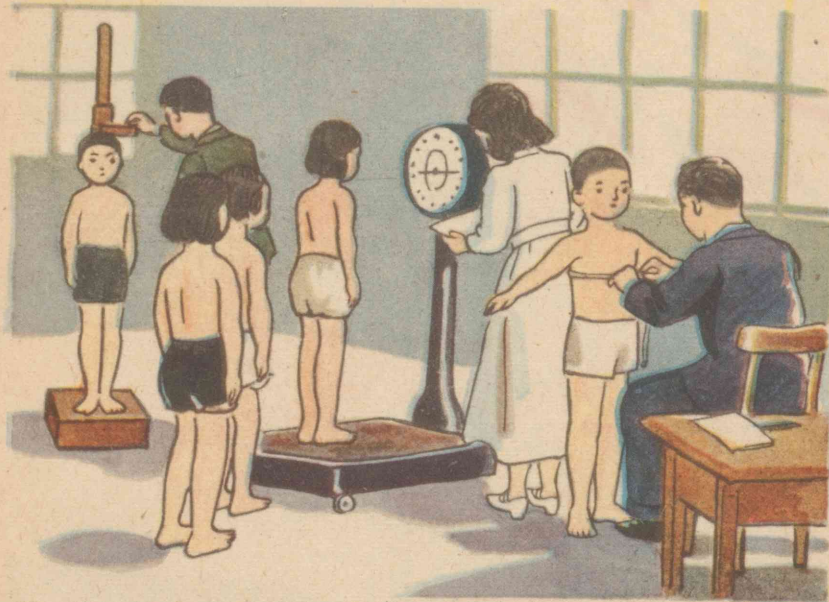
◇ 音を つたえる ものを しらべま
しょう。



IV じょうぶな からだ



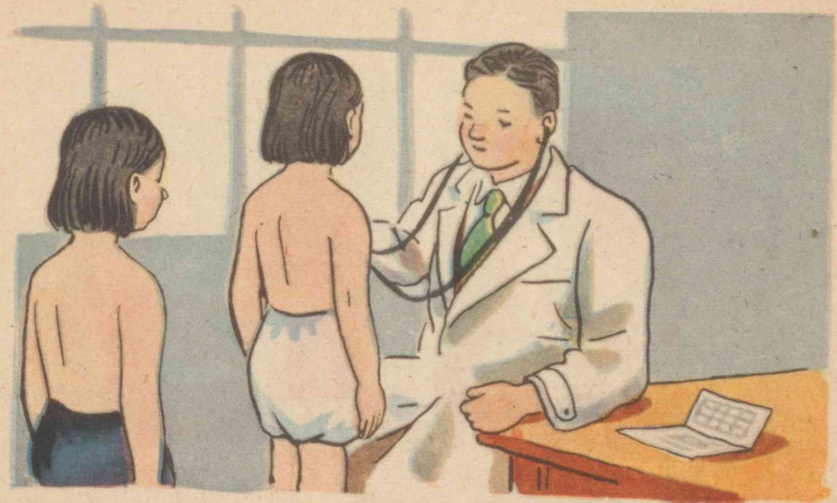
1 春の しんたいけんさ



きょうは しんたいけんさの日です。
けんいちくんも みよ子さんも せの
高さ(身長), からだのおもさ(体重),
むねのまわり(胸囲), こしをかけた
ときのせの高さ(座高)をはかり
ました。

けんいちくんは きょ年は まさおく
んより ひくかったのに, こどしは ま
さおくんを おいこしました。

らい年の しんたいけんさでは どう
なるでしょうか。



みよ子さんが おいしゃさんに けん
さをして もらっています。

「よい からだですね。うんどうは す
きですか。」

「はい, すきです。」

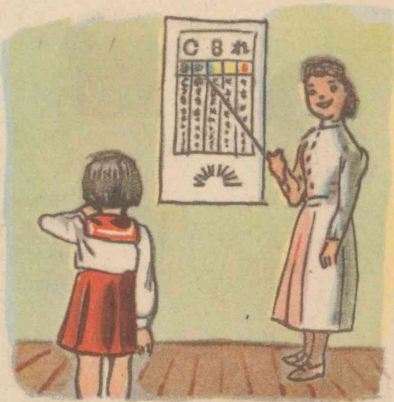
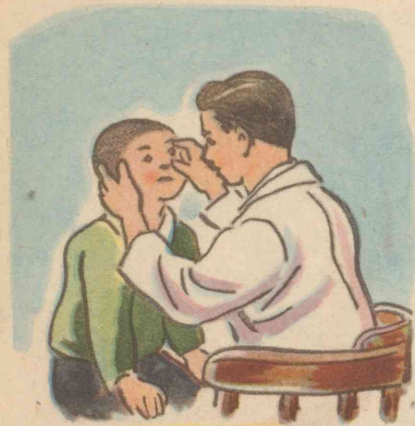
「たべものに すききらいは ありませ
んか。」

「はい, なんでも たべます。」

「夜は よく ねむれますか。」

「はい, よく ねむれます。」

みよ子さんは しせいも よいと ほ
められました。



目の けんさが あ
りました。

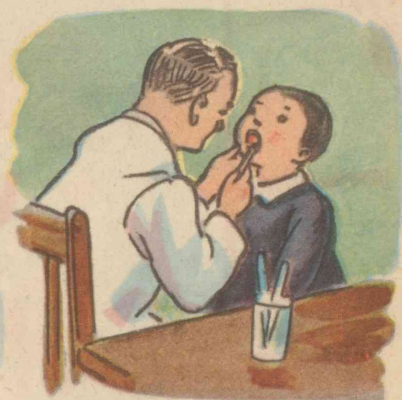
トラホームは うつ
る びょうきです。き
たない 手ぬぐいや
手で 目を こすらな

いように しましょう。

きんがんに ならないように おいしゃ
さんが ちゅうい して くださいました。

1 うすぐらい ところで こまかい
ものを見ない こと。

2 しせいに 気をつけて、目を あ
まり ちかづけて 見ない こと。



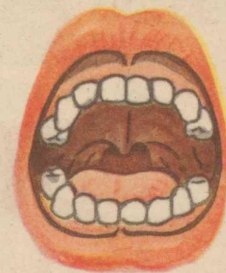
耳の けんさが あ
りました。

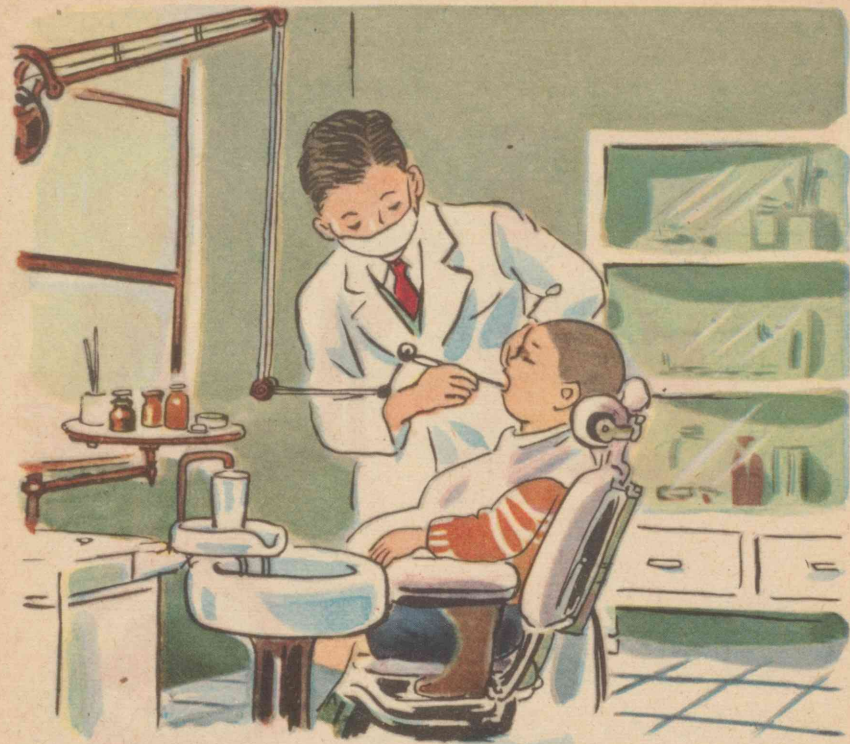
けんいちくんも み
よ子さんも、ときどき
おかあさんから 耳あ
かを とって もらっ
て いるので きれいです。

はこの けんさが ありました。

あきらくんは しらない うちに む
しばが 1つ できて いました。

「いまの うちに てあてを しなさい。」
と、はいしゃさんが おっしゃいました。





あきらくんは さっそく はいしゃさんに いきました。

はいしゃさんは

「この ぐらい 早い うちに てあてする ことは、たいへん よい ことです。」

と おっしゃいました。

あきらくんは しんたいけんさが あって よかったと 思いました。

むしげのすすみかた



はいしゃさんの 家に ポスターが はって ありました。

けんいちくんは この ポスターを 見て「ぼくのは 1ばんだな。」と 思いました。

2 朝から 夜まで



げんきよく おきますか。
はが じょうずに みがけますか。



朝ごはんを ゆっくり たべましょう。



わすれものは ありませんか。



おおぜいで よこにならんである
くのは やめましょう。



ふみきりでは 気をつけましょう。



べんきょうしているときのしせ
いは どうですか。



げんきよく あそびますか。



よく かねて たべますか。



へやは 気もちよく かたづいて い
ますか。



外から かえったら 手や足をあ
らい、うがいを しましょう。



あぶない あそびは しないように
気をつけましょう。



きまった じこくに たべましょう。



どう いう じゆんに あらったら
よいでしょうか。



つめは のびて いませんか。



ときどき かみを あらいましょう。

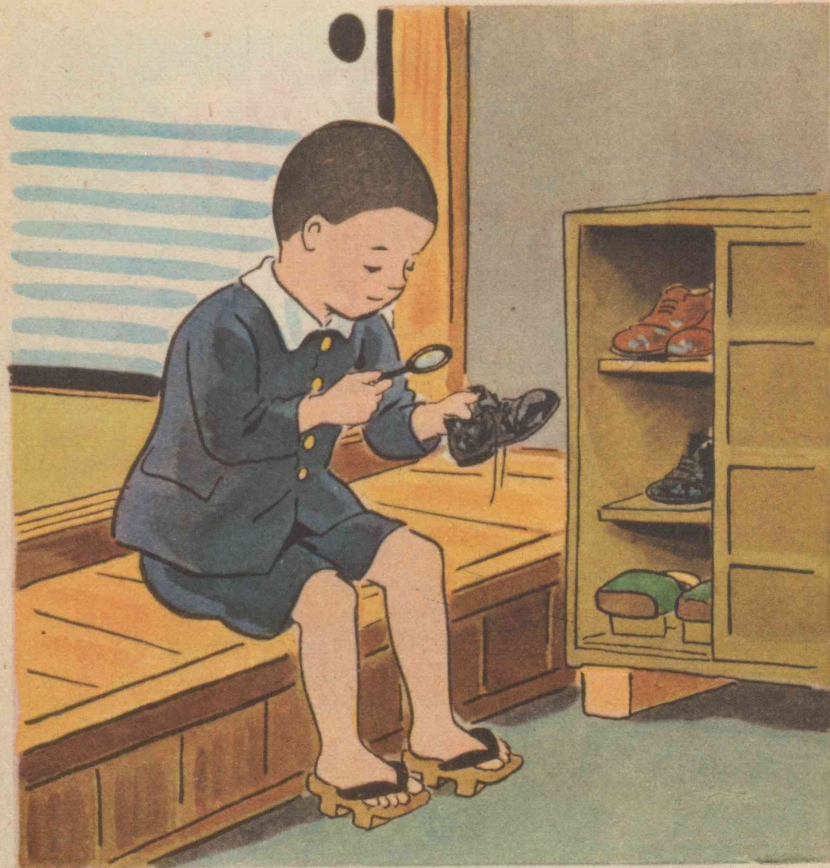


すききらいをしないで たべましょ
う。



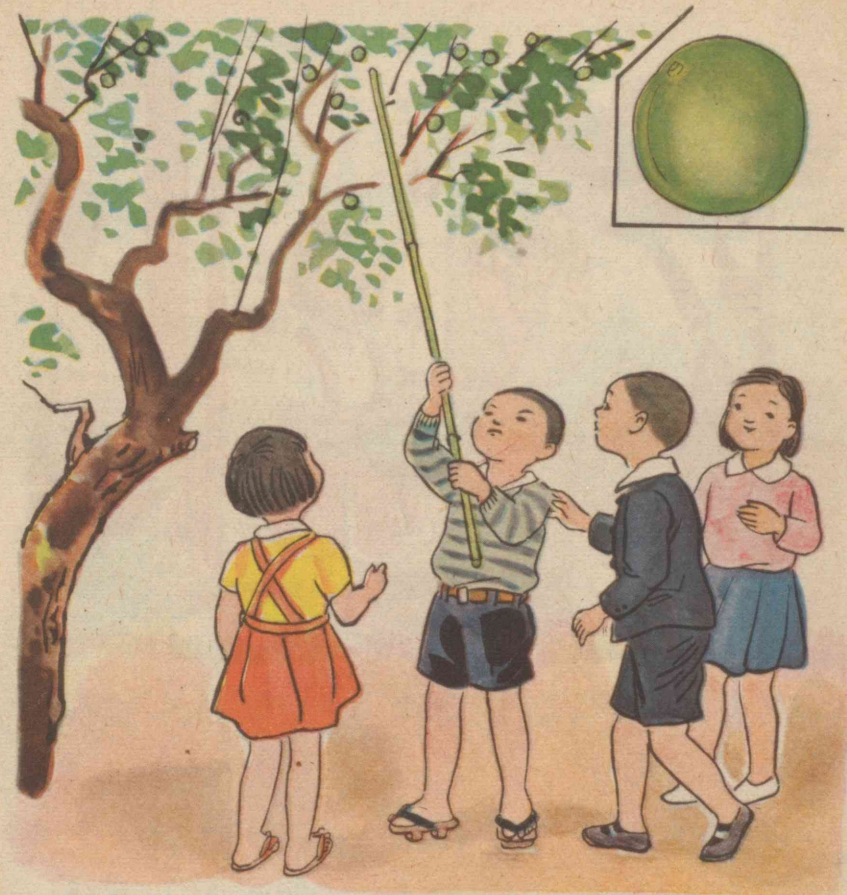
ねる まえに はを みがきましょう。
ねる まえに きかえますか。

3 夏の えいせい



つゆのころになると、雨がふりつづくので、いろいろなものにかびがはえます。

◇ どんなところにかびがはえますか。どんな色をしたかびがありますか。



「きみ、青い うめのみをとってどうするの。」

「青い うめのみは たべると びょうきになるわ。」

青い うめのみを たべると、ひどい ちゅうどくをおこす ことがあります。



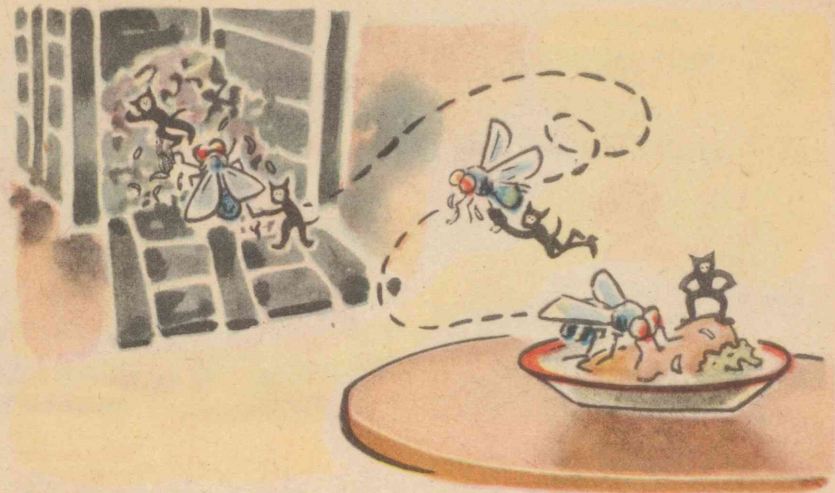
ゆうはんの したくを して いた
おかあさんが

「おや、もう これは においが おか
しいから、たべるのを やめましょう。」
と おっしゃいました。

「たべものが くさるのは ばいきんの
せいだよ。」

と、おとうさんが おっしゃいました。

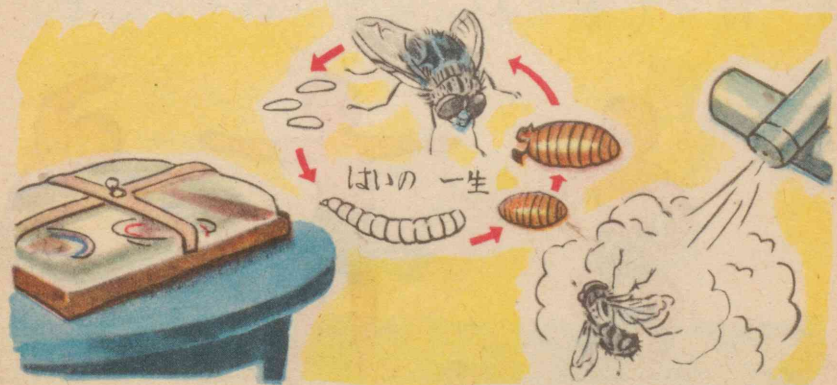
◇ たべものが くさったか どうかは
どう して わかりますか。



はいは ばいきんを はこびます。

○ はいが たまごを うむ ごみばこ
や きたない ところは、ふたを して
おきましょう。

○ うじや はいは くすりて ころし
ましょう。





けんいちくんは およぎに いく とき、どんな ことに 気をつけたら よいかを かんがえました。

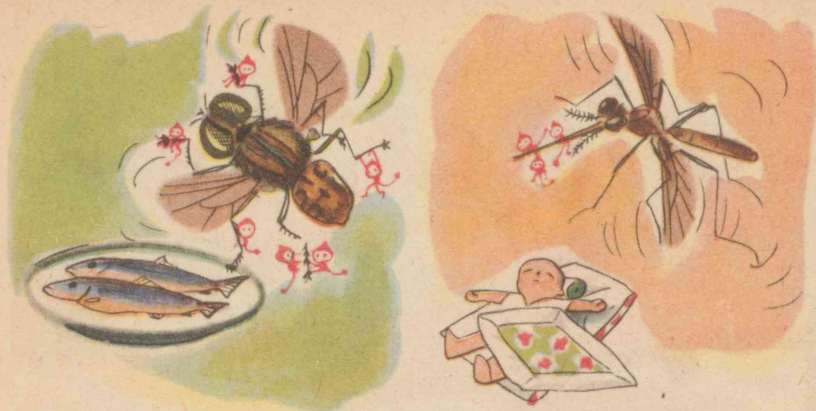
- 1 ひとりで いかないで おとなの 人について いって もらう こと。
- 2 からだの ぐあいが わるい ときには、さそわれても やめる こと。
- 3 ぼうしを かぶって いく こと。



みよ子さんは およぐ ときの ちゅういを かんがえました。

- 1 じゅんぴうんどうが すんでも いきなり とびこまない こと。
- 2 いつまでも 水にはいって いない こと。
- 3 あとで 耳や 目を きれいな 水であらう こと。

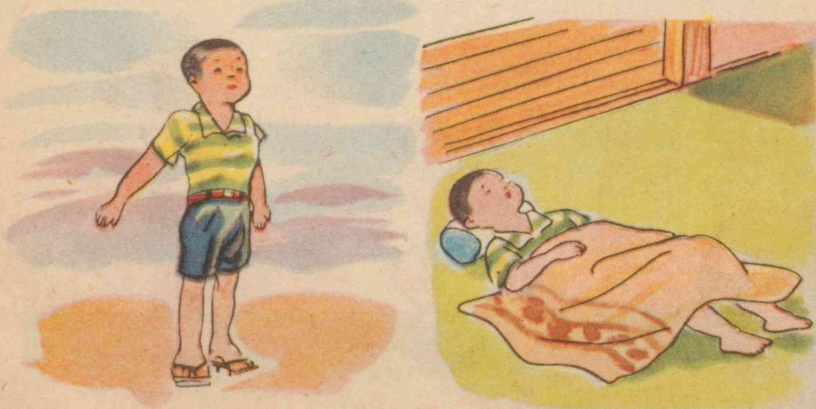




夏になると、いろいろな びょうき
が はやります。

けんいちくんたちは どう したら
びょうきに かからないかを かんがえ
ました。

- 1 うつる びょうきになったら、ほ
かの人の そばに いかない こと。
- 2 きそく たくしく くらす こと。
- 3 なるべく ひるねを する こと。



- 4 ひなたでは ぼうしを かぶる こと。
- 5 たべすぎや のみすぎを しない
こと。
- 6 はいが たかった ものは たべな
い こと。
- 7 かや のみを たいじする こと。
- 8 よぼうちゅうしゃを うける こと。
- 9 うつる びょうきに かかった ひ
とに ちかよらない こと。



4 うんどうの あと



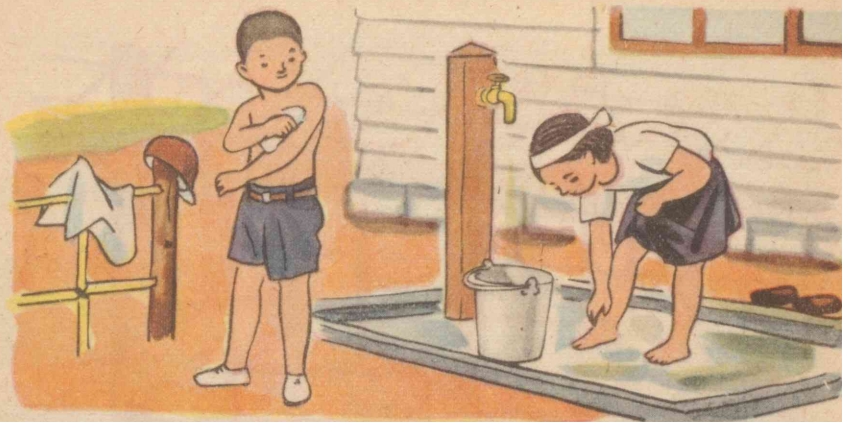
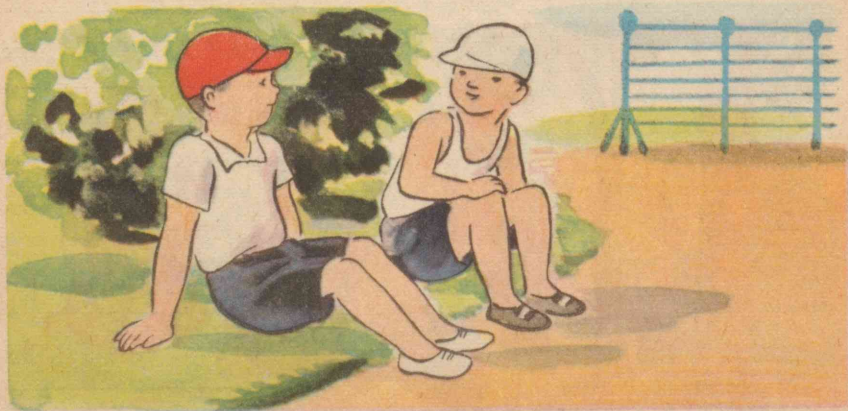
けんいちくんたちは かけっこを しました。

「けんいちさん、くるしかったでしょう。」

「ああ、いきが くるしい。」

◇ はげしい うんどうを すると、からだの ようすが どう かわりますか。

◇ くるしく なったら やすみましょう。



うんどうを して つかれたら やすむと なおります。やすむ ことと ねむる ことは、つかれを なおすのに 1ばん よい ほうほうです。

うんどうを した あとで

1 あせが 出たら、よく ふく こと。

2 からだを きれいに すること。(手や 足を あらったり、おふろに はいります。)

3 つかれを なおす こと。



おとうさん 7 じかん

おかあさん 7 じかん

にいさん 8 じかん

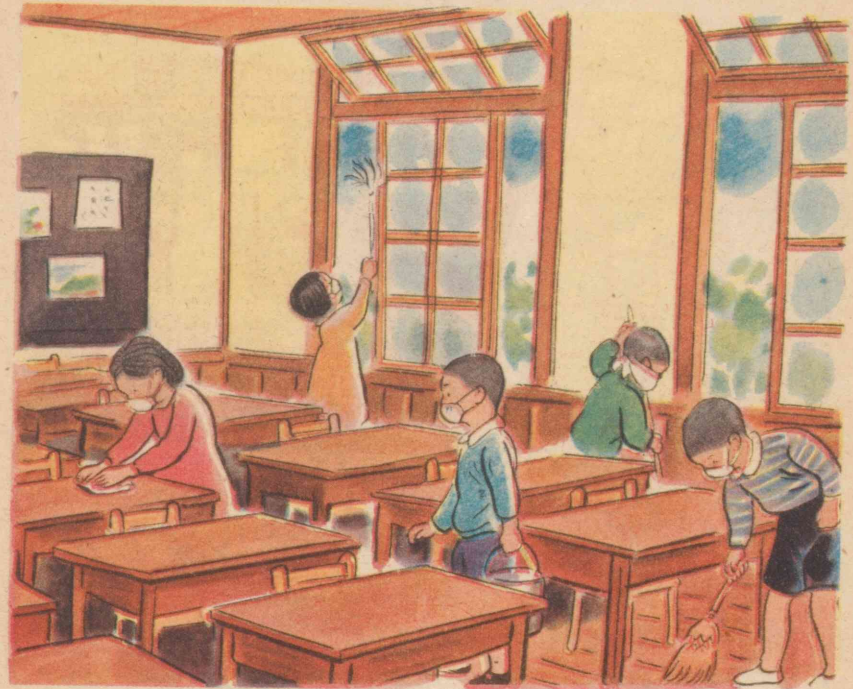
けんいちくん 11 じかん

いもうと 13 じかん

5 冬の えいせい



しめきった へや
の なかに、おおぜ
いの 人が ながい
あいだ いると、く
うきが よごれます。
へやの なかで
火を おこして い
る ときも、くうき
が よごれます。ま
どは ときどき あ
けましょう。



- そうじを する ときには、まどを
あけましょう。
- ほこりの 多い ところでは、マス
クを かけましょう。
けんいちくんは そうじが おわった
あとで、マスクが ほこりで 黒く よ
ごれて いるのにおどろきました。
- マスクが よごれたら きれいな
の とりかえましょう。

先生 の ページ

◇ この教科書による指導目標

この教科書ではつきに示したものを主な理解の目標とし能力については

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 数量的に見る能力 | ② 継続観察をする能力 |
| ③ 問題をつかむ能力 | ④ 関係を見る能力 |
| ⑤ すじ道の通った考え方をする能力 | ⑥ 分類する能力 |
| ⑦ 機械道具を扱う能力 | ⑧ 工作する能力 |
| ⑨ 記録する能力 | ⑩ 正確に発表する能力を |

態度については

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① 環境に興味をもつ態度 | ② 根気よくやり続ける態度 |
| ③ 健康に関心をもつ態度 | ④ くふう考案する態度 |
| ⑤ 科学的作品に興味をもつ態度 | ⑥ 疑問をおこす態度などを |

主な能力態度として、身につけるように考えてある。

-----◇-----

単元II てんきしらべ (P.3—18)

1 春の てんき (P.3—5)

- ① 天気にはいろいろな種類がある。(P.3)
- ② 雲にはいろいろな種類がある。(P.3)
- ③ 太陽は光と温度とを与えてくれる。(P.3)
- ④ 気温は刻々に変わる。(P.3,4)
- ⑤ 温度計で温度がはかれる。(P.3,4)
- ⑥ 星は非常に遠くにあつて星座に分けられる。(P.5)
- ⑦ 星座はだいたい形を変えないから方角を知るのに役立つ。(P.5)

2 夏の てんき (P.6—8)

- ① 天気にはいろいろな種類がある。(P.6,7)
- ② 雲は動いて形が変わる。(P.6,7)
- ③ 夏には夕立や雷が多い。(P.6,7)
- ④ 雷は電気のはたらきでおこる。(P.6,7)
- ⑤ 流星は小さな天体が地球に引きつけられておこる。(P.8)

3 秋の てんき (P.9—13)

- ① わが国は夏から秋にかけて台風におそわれることがある。(P.9)
- ② 天気はいろいろ変わる。それを予知することは大切である。(P.9)
- ③ 電信機、電話機、ラジオなどの発明によって、遠くまで瞬間的に通信できるようになった。(P.9,10)
- ④ 星は非常に遠くにあつて星座に分けられる。(P.11)
- ⑤ 星座はだいたい形を変えないから方角を知るのに役立つ。(P.11)
- ⑥ 月は約ひと月の間に形が変わる。(P.12)
- ⑦ 太陽は地球の半分だけを照らし、光のあたる所が昼で、あたらない所が夜である。(P.13)

4 冬の てんき (P.14—18)

- ① わが国では季節風によって夏季と冬季とでは気候に特徴がある。(P.14,15,16,17,18)
- ② 水は空と土との間をめぐり、いろいろな形をとる。(P.14,15,16,17,18)
- ③ 機械を使うと仕事が速くて楽にできる。(P.16)
- ④ 雪の多い土地では雪ぞりやスキーが用いられる。(P.17)
- ⑤ 星は非常に遠くにあつて星座に分けられる。(P.18)
- ⑥ 星座はだいたい形を変えないから方角を知るのに役立つ。(P.18)

単元III おもしろい あそび (P.19—44)

1 ほかけぶね (P.20—23)

- ① 風力を使って機械を動かすことができる。(P.20,21,22,23)

2 水あそび (P.24—26)

- ① 水は高い所から低い方に流れる。(P.24,25)
- ② 水の流れて水車をまわし、いろいろな仕事をする事ができる。(P.26)

3 じしゃく作り (P.27—29)

- ① 磁石は引きつけるものと、引きつけないものがある。(P.27)
- ② はがねを磁石でこすると磁石になる。(P.27,28)
- ③ 自由にまわるようにさされた磁石は南北をさし、北に向かう磁極を北極、南に向かう磁極を南極という。(P.28,29)
- ④ 異なった磁極は引きあい、同じ極はしりぞけあう。(P.29)

③磁石は方位を知るのに使われる。(P.29)

4 ぼうえんきょう (P.30-32)

- ①虫めがねで物を大きくみることが出来る。(P.30)
- ②望遠鏡や双眼鏡はレンズの組み合わせでできている。(P.30,31,32)
- ③簡単な機械が大そう役立つ。(P.32)

5 だるまおとし (P.33-34)

- ①静止しているものは、力がはたらかないといつまでも静止している。(P.33,34)

6 うごく おもちゃ (P.35-38)

- ①機械を使うと仕事は速くて楽になる。(P.35,36,37,38)
- ②風力を使って機械をはたかせることができる。(P.35,36,37,38)
- ③機械は人や動物やエンジンやモーターで動かす。(P.38)
- ④車や簡単な機械が大そう役立つ。(P.38)
- ⑤ぜんまい、ゴム、ばね、空気などで機械を動かすことができる。(P.35,36,37,38)
- ⑥交通機関が進歩して、短い時間に楽に旅行したり、多くの荷物を運んだりすることができるようになった。(P.38)

7 てんちあそび (P.39-41)

- ①電池から電気をとり出すことができる。(P.39)
- ②電気は照明に使われる。(P.40)
- ③電力を使って、電動機をまわすことができる。(P.40)
- ④電気は熱源として使われる。(P.41)
- ⑤電気で光、熱、力を得ることができる。(P.41)

8 いとでんわ (P.42-44)

- ①音は物の振動でおこる。(P.42,43,44)
- ②音は空気やその他のものによって伝わる。(P.42,43,44)

単元IV じょうぶな からだ (P.45-71)

1 春の しんたいけんさ (P.46-51)

- ①身体検査で、自分の発育のようすや気がつかなかった病気を知ることができる。(P.46,47,48,49,50,51)

②ほどよい運動は健康を増進する。(P.47)

③いろいろな種類の食物を適当に組み合わせてとらなければ健康は保てない。(P.47)

④適当な休息は新しい活動の源となる。(P.47)

⑤よい姿勢は健康を保つのに役立つ。(P.47)

⑥身体検査の結果悪いところがわかったら、早く適当な手当をすることが大切である。(P.46,47,48,49,50,51)

⑦病気にはうつるものと、うつらないものがある。(P.47,48,49,50,51)

⑧よごれた手で目をこすると、ばい菌がついて目の病気にかかりやすい。(P.48)

⑨日のじかにあたっている所や、うす暗い所で物を見ると目をいためやすい。(P.48)

⑩悪い姿勢は目をつかれさせ、近視になりやすい。(P.48)

⑪耳あかをときどきとらないと、耳の病気をおこすことがある。(P.49)

⑫むし歯は早く適当に手当をすればなおりやすい。(P.49,50,51)

2 朝から 夜まで (P.52-57)

①つぎのような健康生活の習慣を身につけることは保健上大切である。

◎朝おきたらねまきをきかえる。(P.52) ◎朝おきたら歯をみがく。(P.52)

◎ごはんはゆっくりよくかんで食べる。(P.52)

◎ハンケチ、はな紙は必ずもつ。(P.53) ◎交通の規則をまもる。(P.53)

◎正しい姿勢で学習する。(P.54) ◎元気にほどよい運動をする。(P.54)

◎食事の前には手を洗う。(P.54) ◎よくかんで食べる。(P.54)

◎室内の清潔、整頓に気をつける。(P.55)

◎外出からかえったら手(足)を洗い、うがいをする。(P.55)

◎道路上の遊びや、危険な遊びはしない。(P.55)

◎間食はだいたいきまった時刻に食べる。(P.56)

◎入浴のときはよくからだを洗う。(P.56)

◎いつもつめを短くしておく。(P.56)

◎ときどき髪を洗う。(P.57) ◎すききらいしないで食べる。(P.57)

◎夜ねる前に歯をみがく。(P.57) ◎ねる時は元気にねまきときかえる。(P.57)

3 夏の えいせい (P.58-65)

- ①かびはしめったところにはやすい。(P.58)
- ②日光にはかびや細菌を殺すはたらきがある。(P.58)
- ③未熟な梅の実を食べると、中毒をおこしやすい。(P.59)
- ④食べ物がかさると、においや色や味が変わる。(P.60)
- ⑤うつる病気は食べ物、水、空気、動物などのなかたちでひろがる。(P.61)
- ⑥病原体や、なかたちをする動物は日光や熱や薬で殺すことができる。
(P.61)
- ⑦水泳のときはつぎの注意を守ることが必要である。(P.62,63)
- ◎おとなのかんとくのもとにする。◎からだのぐあいの悪い時にはしない。
◎準備運動をする。◎あまり長く水につかっている。
- ◎水からあがったら、目耳をはじめ、からだをきれいな水で洗う。
- ⑧規則正しい生活は健康を増進する。(P.64,65)
- ⑨健康なからだは病気を防ぐ力が強く、病気にかかってもなおりが早い。
(P.64,65)
- ⑩予防注射は病気を防ぎ、病気にかかっても軽くすませることができる。
(P.64,65)
- ⑪わずかな注意でけががさけられ、病気をまぬかれる場合が多い。(P.58, 59,60,61,62,63,64,65)
- 4 うんどうのあと (P.66—67)
- ①わずかな注意でけががさけられ、病気をまぬかれる場合が多い。(P.66,67)
- ②運動を長くつづけると疲れる。休息、睡眠、入浴、慰安などで疲れがなおる。(P.66,67)
- 5 冬のえいせい (P.68—71)
- ①新しい空気は健康を進め、空気に細菌がふえたり、炭酸ガスや有毒なガスがたまると健康をそこなう。(P.68,69)
- ②ほこりの多い所ではマスクをすると、呼吸器のためによい。(P.69)
- ③病気は早く適当に手当をすればなおしやすい。(P.70)
- ④伝染病の予防は社会のすべての人が力をあわせなければ完全にならない。
(P.70)
- ⑤日なたで、または悪い姿勢で本を見ると目をいためやすい。(P.71)
- ⑥ひびやしもやけは常に清潔を保つことによってある程度防げる。(P.71)

編集にたずさわった人

監修者

東京大学教授 服部 静夫 東京大学教授 楠木 政岐
 東京大学教授 坂井 卓三 東京大学教授 渡辺 武男
 東京大学助教授 立花 太郎 東京大学助教授 藤井 隆
 東京大学講師 中村 浩 愛育会病院長 斎藤 文雄

編集委員

麹町中学校校長 有元石太郎 関東理科学研究員 西野 成俊
 東京学芸大第小加藤嘉男 東京学芸大第小羽生鶴寿
 高輪台渡辺治雄 東京学芸大第小花村郁雄
 東京学芸大第小阿部義理

東京書籍株式会社編集部 代表者 藤田 貞次
 さし絵 安 泰
 装てい 中尾 彰

あたらしい りか 3ねん (2) (小学校用) (小理305)

(Approved by Ministry of Education. Date)

昭和二十六年五月一日 印刷

昭和二十六年六月一日 発行

(昭和二十五年八月十二日 文部省検定済)

定価 円

著 者 服 部 静 夫

東京都北区堀船町一丁目八五七番地

発 行 者 東 京 書 籍 株 式 会 社

代表者 山田三郎太

東京都台東区二長町一番地

印 刷 者 凸 版 印 刷 株 式 会 社

代表者 山田三郎太

発 行 所 東 京 書 籍 株 式 会 社

(出版権の設定登録及び表紙の意匠、装てい登録中)



広島大学図書

0130449944



東京書籍株式会社